このときにトレモロとネックの位置決めをします。 まずスケール（弦長）ですがナットからサドルまでは 648 mm です。 12 fから 324 mmになるので 1 弦のサドルがその位置になるよう調整してください（写真 16）。 サドル調整しても 324mm のスケールが得られない時は、 ネックの先端（ポケット側）を 1-2ミリやすり、 ペーパーで削り落としてネックを短くして調整します。 次に左右の振れを調整します。 ネックを基準に見ていき 1 弦、 6 弦の二本の弦が指板の両縁に同じ間隔が得られるようトレモロを動かしてください（前ページ写真 15 参照）。

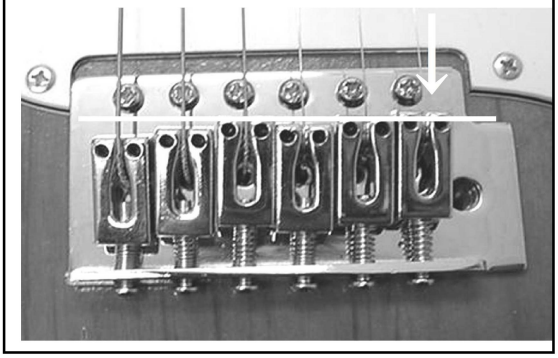

写真 16

ネックがまっすぐついていることが条件になるのでトレモロを動かしてもわない場合はネックのビスをゆるめネックを左右にふり調整します。 位置が決まったところでトレモロ用ビスの穴の位置をマークします。 ここでトレモロはマスキングテープ等で仮止めしてください。

次にピックガードの位置決めです。決定したトレモロの位置を動かさず今度はピックアップのポールピースのうえにに弦が通るようにピックガードの位置を決めていきます。（写真 17）位置の修正の場合はピックガードを動かして調整してください。（トレモロ、ネックは動かさない）位置が決まったらビス穴の位置をマークします。 弦を外し、トレモロ、ピックガード、 ネックを外します。

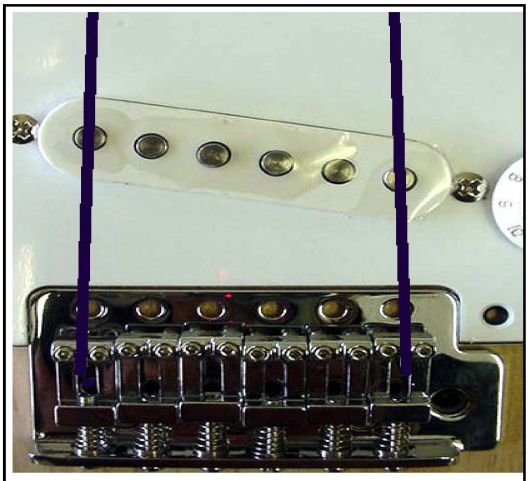
写真 17

マークしたトレモロ用の穴、ピックガードの穴をドリルであけます。（トレモロ用の穴およびピックガード用の穴はφ 2.8 であけてください）

7 ボディ部の組立て（ネック本締め）

1） 配線済ピックガード（パーツD）の取付け。ボディを表向きにして、 配線済ピックガードを取付けます。まだ配線されていない線が出ていることを確認して下さい。

黒二本、 白 1 本です。 黒一本はトレモロキャビティーに、 白一本、 黒 1 本はジャック部に出してください。（写真 18）

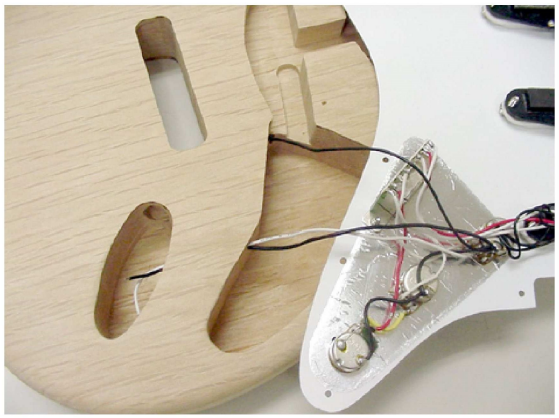
写真 18

各配線が終わってからビス止めするのでこの時点ではマスキングテープで仮止めしてください。
透明のビニールフィルムで保護されています。
組立て中はそのままにして、 完成したら剥がしてください。